

十 監 第 41 号
平成 30 年 8 月 21 日

十日町市長 関 口 芳 史 様

十日町市監査委員 水落 雅史
十日町市監査委員 宮澤 幸子

普通会計財政健全化審査の結果について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項の規定により、審査に付された平成 29 年度十日町市の普通会計財政健全化審査に対する意見を次のとおり提出します。

平成 29 年度十日町市の普通会計財政健全化審査意見書

1 審査の概要

この財政健全化審査は、市長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかを主眼として実施した。

2 審査の期間

平成 30 年 7 月 24 日から平成 30 年 8 月 7 日まで

3 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された健全化判断比率（下表）及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

(単位：%)

区分	健全化判断比率			早期健全化 基準
	平成 29 年度	平成 28 年度	増 減	
①実質赤字比率	—	—	—	12.48
②連結実質赤字比率	—	—	—	17.48
③実質公債費比率	11.6	12.3	△0.7	25.0
④将来負担比率	114.0	99.2	14.8	350.0

※①と②については、黒字となるため「—」表示してある。

(2) 個別意見

① 実質赤字比率について

実質赤字額が生じていないため、前年度と同様に該当がなかった。

② 連結実質赤字比率について

連結実質赤字額が生じていないため、前年度と同様に該当がなかった。

③ 実質公債費比率について

実質公債費比率は 11.6%で、前年度と比べて 0.7 ポイント改善した。早期健全化基準の 25.0%と比較すると、これを下回り良好な状態である。

④ 将来負担比率について

将来負担比率は 114.0%で、前年度と比べて 14.8 ポイント上昇したが、早期健全化基準の 350.0%と比較すると、これを下回り良好な状態である。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項なし。